

長者ヶ峰 (広川町)

[※ 実施日—2025年2月25日(火)]

(ハイライトシーン)

※弥生班 計7名



① (登山口)



② (急登)



③ (小休憩)



⑤ (積雪を行く—その2)



④ (積雪を行く—その1)



⑥ (積雪を行く—その3)



⑧ (長者ヶ峰)



⑦ (飯盛山)



長者ヶ峰 (広川町)

紀峰山の会 (弥生班)

※[はじめに]

(長者ヶ峰)

○広川町と日高川町の境に位置し、三角錐の飯盛山から連なっており、長者屋敷伝説がある。

(長者屋敷伝説)

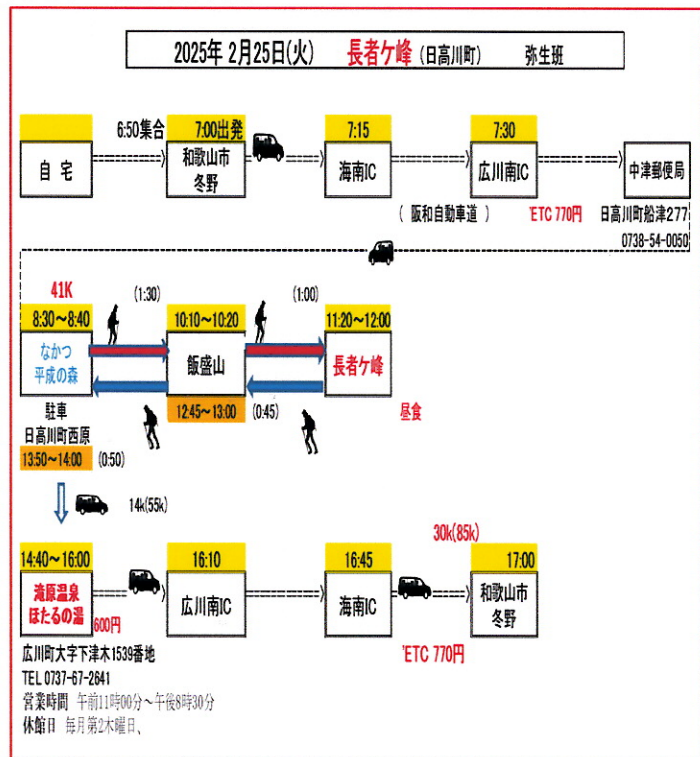
○長者ヶ峰に土地の人が「お屋敷」と呼んでいる平地があり、ここに、都から嫁をもらった男がいた。ある日、男は嫁に買い物を頼まれ、黄金を渡されたが、その途中、山では見られないカモメが飛び交っていたため、懐の黄金を全部投げつけてしまった。そして、何も買わずに帰って、嫁に「あれはいつもの小銭とは違うのに」と叱られたものの「あんな黄金なら、ここにいくらでもある」とケロリ。嫁を連れて馬酔木(あせび)の株の根元を掘ると小判がざくざく出てきた。おかげで二人は、いつまでも幸福に暮らせたという。長者が峰にまつわる伝説である。

(写真1)

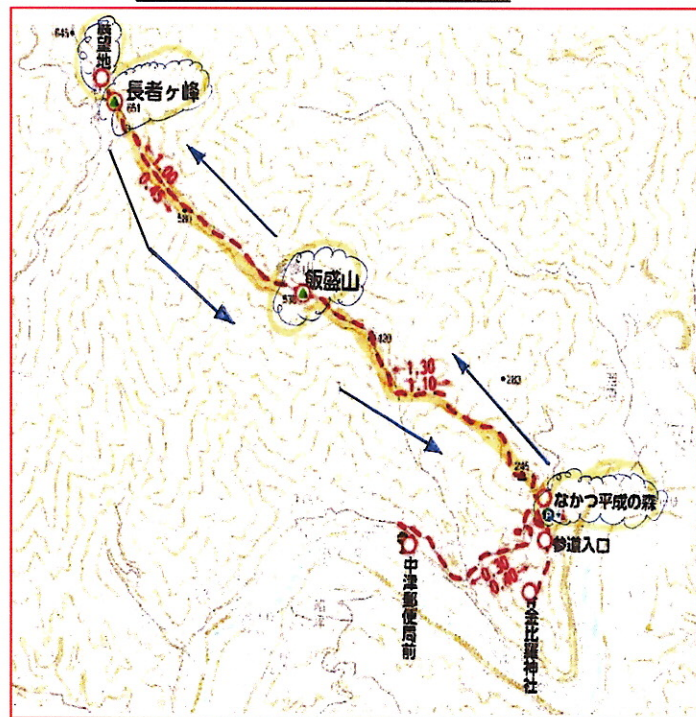
(なかつ平成の森)

※(山行日) -----2025年2月25日(火)

※(行程) [予定]



※ (長者ヶ峰のロードマップ)



・和歌山を午前7時出発、現地8時間30分到着。ラジオ体操で体を解す。

(写真2)

(登山口)



(メンバー) -----計7名

(弥生班)---木村、岡本、八木、大野、大森、有本、大塚

(写真3)

(急登)



・登山道は整備されているが落葉で登りづらい。

(写真6)

(長者ヶ峰の山頂)



・12時山頂へ到着。ここも展望がない。

(写真4)

(積雪)



・思いがけなく積雪があった。

(写真7)

(昼食)



・山頂近くで昼食。
昼食後、12時30分から下山。

(写真5)

(飯盛山の山頂)



・飯盛山に到着。木々が茂り展望なし。

[最後に]

- 当日は晴天で風はなく、山行日和であった。
- 想定していた以上に急登で、落葉と積雪で登りづらく、メンバー全員が幾度か転倒し、(打ち身程度で怪我なし) 時間を費やした。
- 登山道は標識やリボンで整備はされているが、ローカルな山で出くわす他の登山者はなく、近日の登山者の跡もなかった。
- 山頂では展望がなく、下山途中から西側に御坊方面の海岸と東側の矢筈岳や清冷山が見え、やっと展望が開けた。
- 今回の山行は、思った以上にハードなコースで、展望は期待はずれであったが、帰路の滝原温泉ほたるの湯でのんびりと入浴し、サウナと水風呂で風邪気味の身体をすっきりさせた旅でした。